

【耕畜連携】（奈良県 畜産農業協同組合肉用牛事業部）

- 奈良県畜産農業協同組合肉用牛事業部は、平成27年から、米（飼料用米等）を収穫した後に水田にすき込みされる稲わらを家畜飼料として有効活用するとともに、畜産堆肥を肥料として水田に散布することにより資源循環型畜産を推進。
- 平成27年度国産粗飼料増産対策事業で稲わら収集活動を支援し、県単事業では堆肥散布活動を支援し、機械や施設を整備し、耕種農家と畜産農家との連携により作業体制を構築。平成27年度から令和2年度の間に、延べ140 haの圃場から稲わらを収集し、延べ7 haの圃場に堆肥を散布。
- 平成30年度以降は、補助事業に頼らない自立した運営を行っており、資源循環型畜産経営の要となる県域のコントラクターとして一層の活躍を期待する。

